



すべてのこどもに夢と希望を

NPO法人 エンカレッジ

福祉

学習以前に課題のある生徒に対する"寄り添い"支援。自己肯定感が低いこどもたちの多くは過去の失敗体験が大きな要因です。本人の過去を理解して、現在に寄り添う。講師一人ひとりがこどもたちの安心、安全な居場所になることが活動の根幹です。

多様なこどもたちに対応するためのあらゆるカリキュラムを備え、すべてのこどもたちが望んでいる"勉強がわかりたい"を叶えます。その中でこどもたちは成功体験を積み自己肯定感を高めていきます。

教育

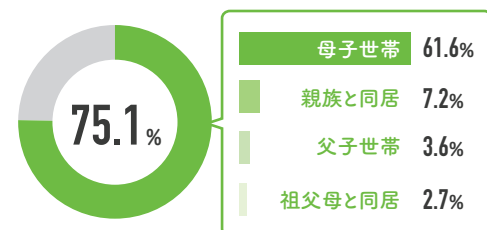
社会との接続機会の創出。成熟した社会に触れることにより夢や希望をもち自発的な行動を起こし、今を大切に生きていく。又、エンカレッジ高等学校では、多様なこどもたちの受け皿と社会接続機会の提供を念頭に、継ぎ目のない支援を行います。

社会



エンカレッジのこどもたち

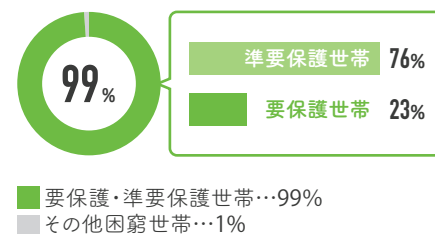
両親と同居していないこどもの割合*



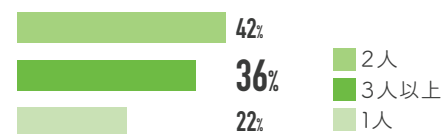
■ 両親と同居していない…75.1%
■ 両親と同居している…24.9%

*すべて第一回エンカレッジ
教室実態調査:2019年度12月実施

要保護・準要保護世帯の割合*

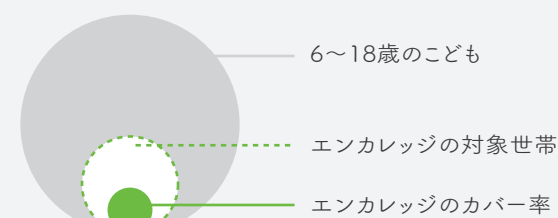


世帯のこどもの人数*



エンカレッジの課題

課題① 支援の拡張～カバー率の向上～



県内要保護世帯は2.0%、準要保護世帯は18.3%であり、合計約20%がエンカレッジの対象世帯。6～18歳のこどもは約40,000人いると思われる。しかしエンカレッジのカバー率は2.2%。もっと多くのこどもたちにエンカレッジに来てほしいと思っています。

課題② 高校卒業後のサポート

高等学校の不登校生徒数 高等学校の中途退学率 高等学校卒業後進路未決定率



* 2014年度 生徒1000人当たり

* 2014年度

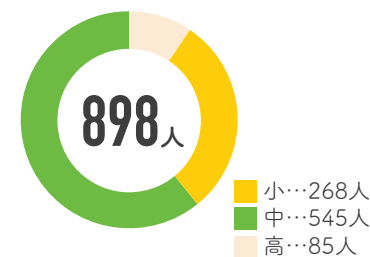
* 2015年度

沖縄県の高校生の不登校数や中途退学率、卒業後の進路未決定率は全国にくらべて高いという深刻な問題があります。高い進学率で高校に入学したエンカレッジのこどもたちも、不登校になったり、中退したり。高校進学後のサポートを強化する必要性があると痛感しています。

ひとめでわかるエンカレッジ

生徒数 (2019)

累計約4,000人(2008~2019)



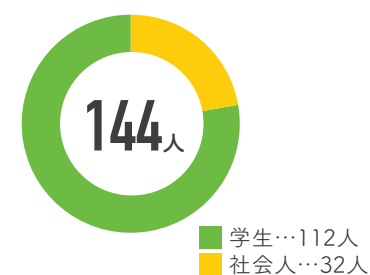
小・中学生には行政からの委託事業として、居場所型学習支援と通塾支援を行なっています。高校生には自主事業として引き続きフォローアップ教室を行なっています。

年間学習会開催数 (2019)



通常は週3回のエンカレッジですが、毎日来るこどももいます。彼らにとっては、安心して安全な居心地のいい場所のようです。

講師数 (2019)

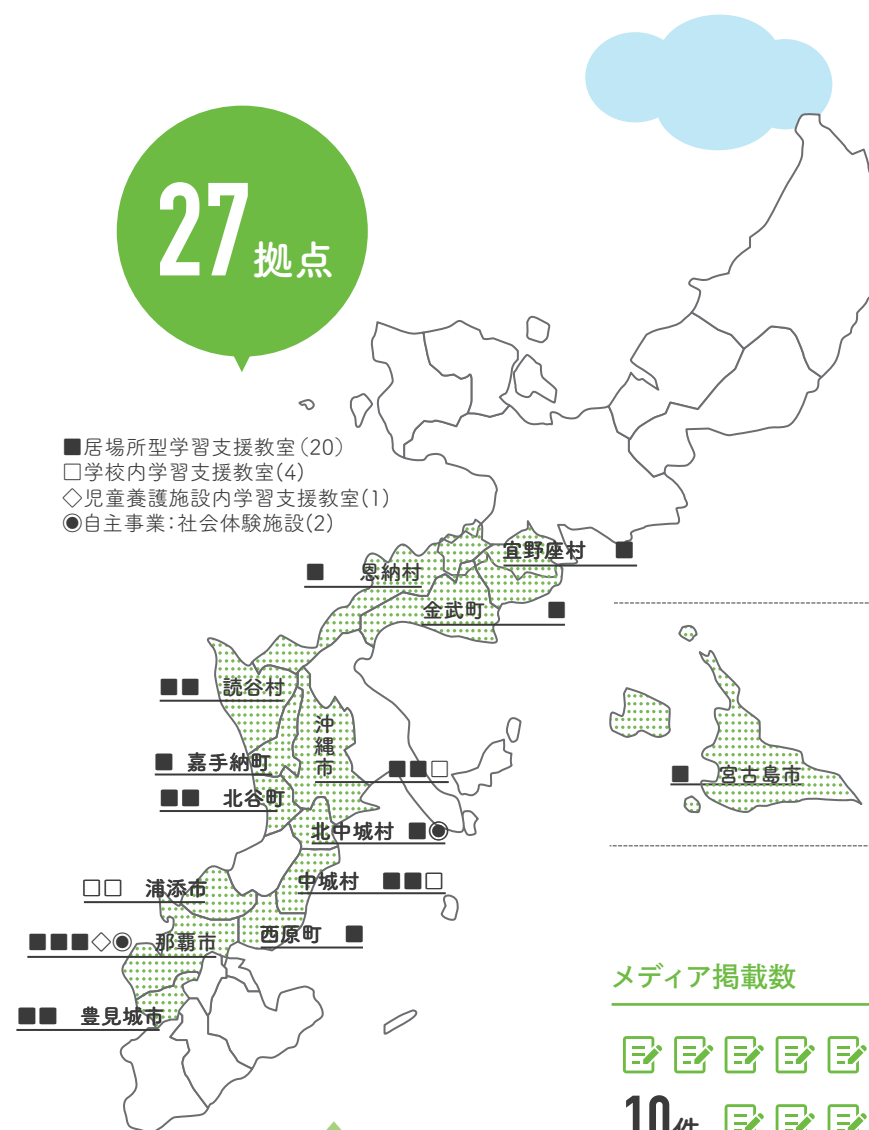


ひとりの講師に生徒6人。学習のみでなく、生活を含めた日々の生徒の状況を丁寧にみて、寄り添っています。

講師応募者と面接数 (2019)

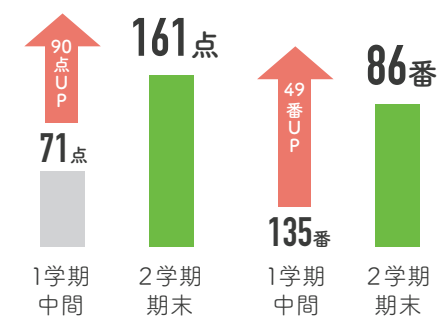


応募者は、社会課題に関心をもち、活動に共感してくれる、熱意をもつ方々です。



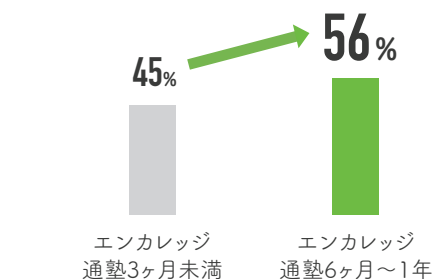
学力のUP (2019 北谷教室 中1生)

中間テストと
期末テストの比較 最下位→86番



自己肯定感の変化

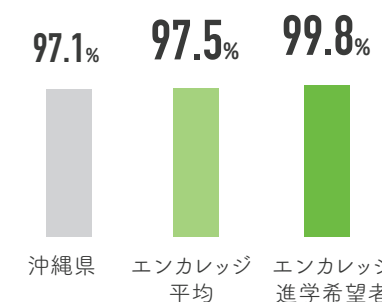
Q: 私は自分自身に満足している。



全国調査 45%
全国調査出典: H30年度我が国と諸外国の若者の意識に関する調査

高い高校進学率 (2019)

2010～2019年のエンカレッジ生の進学率は97.1%と毎年、沖縄県より高い進学率。



協力企業・団体数

企業 62 社 行政 16
教室の近隣の企業からさまざまなご支援をいただいています。

受賞履歴

第52回 社会貢献支援財団(会長安倍昭恵)「社会貢献者表彰」受賞(2019年7月)

▼すべてのこどもに夢と希望を▼

あなたも「エンカレッジ サポーター」になりませんか？

2008年から活動を開始したNPO法人エンカレッジは、今まで行政からの補助金や支援者の方々のご寄付やご厚意により成り立ってきました。おかげさまで、沖縄県内約40%の市町村にて教室運営をさせていただいております。今だからこそ、もっと多くのこどもたちに学習の機会や安心・安全な場所、豊かな社会とのまじわりを深めていきたいと思っています。

ご支援の方法

①毎月の寄付



こどもたちの未来のために継続的なご支援をお願いします。月々1,000円からのご寄付が可能です。

②都度の寄付



いつでも好きなタイミングで！税制優遇も可能です。※10万円からお願いします。

③物資で支援



PC・タブレットなど→生徒がオンライン学習などで使用させていただきま。事務用品→教室で講師、生徒が使用させていただきます。

④ボランティアで支援



一般教科の学習はもちろん、さまざまな体験活動やキャリア教育でお手伝いいただける企業・個人の方を募集しております。

ご支援の詳細はこちらから！



お問い合わせ

TEL: 098-923-1813 MAIL: info@enc-ok.jp

WEB: <https://www.enc-ok.jp/>

〒901-2302

沖縄県中頭郡北中城村渡口981-2

特定非営利活動法人エンカレッジ(代表 坂晴紀)

行政

山城 忠信さん
那覇市子育て応援課副参事
(元保護管理課副参事)

エンカレッジには単なる学習支援ではなく、こどもたちの居場所として社会や地域・大人たちと繋がる機会の提供を期待しました。その期待を遥かに超える熱量をもって、こどもたち一人ひとりに寄り添い、学習への原動力(なりたいたいとか面白いとか楽しいとか)を生み出し、大人や仲間との繋がりの中でさまざまな経験をする機会を提供してくれました。これからも沖縄を担う人材を育成してほしいと期待しています。

企業

下地 雅美さん
株式会社レキオス 事業本部本部長

弊社では「だれもが安心して暮らせる社会づくり」をモットーに、不動産事業・住環境支援事業・情報通信事業を通じて社会課題解決に挑戦しております。経済格差から生じる教育問題に向き合うことで、負のスパイラルを解決したいと活動するエンカレッジさんに賛同し、所有物件での居場所をご提案し協創事業が実現しました。今後もエンカレッジさんの事業活動を応援します。

エンカレッジ卒業生

U・Tさん
中2から高校3年まで、那覇教室に通学。4月に琉球大学に入学

エンカレッジに入る前は、勉強する場所がなく、学校で友達をつくるのが難しく、楽しくありませんでした。入ってから、学習習慣が身につく、友達もできました。先生たちと気軽に話せて安心でした。また、基地の隊員さんから話を聞くなどさまざまな体験の機会をもらい、将来の職業選択のきっかけになりました。生活が厳しくて、居場所や学習する機会がなく、夢をあきらめることがないように、エンカレッジの事をもっと広めてほしいです。